

「テストツールは使えない!」と思う方必見のセミナー



# これなら使える テストツール

～テストは手作業が早かった時代の終焉～

# 10/5 (水)

14:45 - 17:00 / 受付開始 14:15

主催: 株式会社アシスト

共催: 株式会社 ISID インターテクノロジー

定員: 20名 参加無料

「自動テストツールを持っているが使っていない」、「使っているが活用範囲が狭くて不満がある」、「そもそもテストツールなんて使えない」、こういったご意見をテストの現場でよく耳にします。ツールの高度化によって使いこなすのが難しくなり、スクリプトメンテナンスの手間などを考えると、使える人も限定され、必ずしもテストが効率化されない。だから手作業でテストする。ということは自然な流れかもしれません。本セミナーでは、今までの認識を覆すツールや新機能などをご紹介し、積極的なツールの活用によるテスト効率化の方法をご紹介します。

## ソリューション概要

### Quality Center (Sprinter)

ライフサイクル全体を通じたコスト削減

- 全てのアプリケーションのテスト管理
- FTのテストスクリプトを一元管理
- 異なる環境のテストを並列実行
- 不具合登録が容易
- Excelのテストデータをアプリケーションの複数フィールドにワンクリックで自動入力



### Functional Testing

運用時のテストコスト削減

- プログラミング知識不用で簡単スクリプト作成
- 繰り返しのテストをバッチ実行で工数削減
- 幅広い対応環境で全社標準に最適
- QCからのスケジュール実行でスクリプトの完全自動実行



### AT45

テストスクリプト作成のコスト削減

- Functional Testing のテストスクリプトを自動生成
- テスト自動化ツールの知識が不要
- テストツールのライセンス数が少数で可能
- テスト結果 (エビデンス) の自動取得
- 自動テスト実行時にバッチファイルの呼び出しが可能

手動テスト効率化 + 自動テスト利用促進でテストの QCD を改善

## アジェンダ

- テストの現状とツール活用状況
- AT45 のご紹介
- Quality Center、Sprinter、Functional Testing のご紹介
- 質疑応答

## 会場アクセス



お問合せ先 (もしくは担当営業までお問い合わせください)

株式会社アシスト システム基盤ソフトウェア事業部 セミナー担当  
TEL: 03-5276-5565  
E-Mail: ssj\_semi@ashisuto.co.jp

お申込み

<https://www.ashisuto.jp/seminar/?id=xxx>

概要

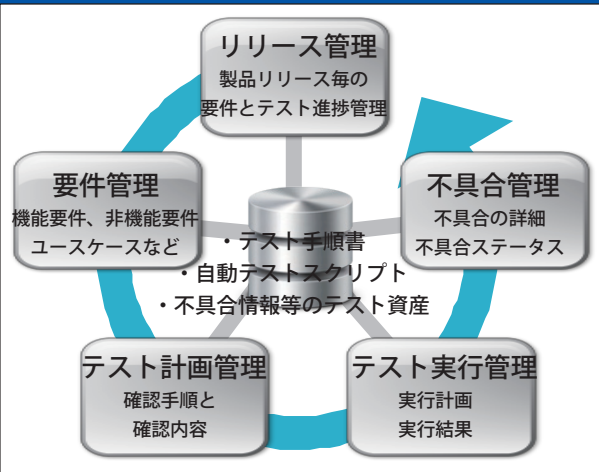
# Quality Center (Sprinter) Functional Testing

テストツールのデファクトスタンダード

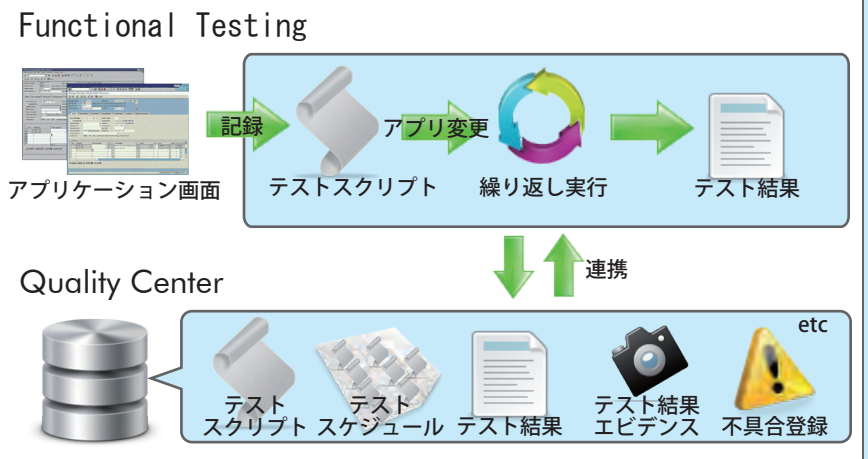
- ✓ プロジェクト横断で構造的にテストを管理する標準化プラットフォーム
- ✓ 手動テストのエビデンス取得を自動化、不具合の登録が容易
- ✓ 繰り返しのテストを自動化し、テストの工数を大幅削減

Quality Center (QC) は、テストの情報を一元管理し、進捗や品質の分析を行うための Web ベースのテスト管理ツールです。テストに関するすべての情報、プロセス、変更履歴などをすべてデータベースで管理するため、トレーサビリティが非常に優れており、影響把握に役立ちます。新機能の Sprinter は革新的な手動テスト支援機能を備え、手動テストの工数の大幅削減を実現します。Functional Testing (FT) は業務シナリオを記録したスクリプトを実行し、繰り返し発生する機能テストの自動化を実現します。

## QC のアプリケーションライフサイクル管理



## FT の機能テスト自動化と QC との連携実行



概要

# AT45

テスト手順書をテストスクリプトに自動変換  
自動テストフレームワーク

- ✓ アプリケーション完成前からテスト準備が可能
- ✓ 自然言語を入れるだけ。Functional Testing のテストスクリプトを自動生成
- ✓ アプリケーション変更時もデータシートを修正するだけで保守完了

ソフトウェア開発現場では、開発量の増加や開発期間の短縮、バージョン管理の多様化など様々な課題を抱えております。複雑化したテスト実施パターンとバリエーションを短期間に、効率よく、確実に実施するためにはテスト自動化ツールの適用による効率的テスト実現が必須と考えております。但し、従来からあるテスト自動化ツールは技術取得に時間を要し、また特定技術者を常にプロジェクトに配置しなければならず、昨今の開発事情（低コスト、短期間）では中々導入が進まないのが現状です。この点に着目した自動テストフレームワーク「AT45」を使用することにより、テストスクリプト作成時の課題を解決することができます。

## AT45 によるスクリプト生成フロー

